

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	福島潟自然文化祭イベント助成金 福島潟自然文化祭事業のイベント実施にかかる経費の助成金							
款・項・目	総務費 総務管理費 区政推進費							
所属等	北区 産業振興課 文化・スポーツ係 電話 025-387-1195							

年度		平成30年度(1年目)	令和元年度(2年目)	令和2年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	3,500	3,500	3,500
	決算(千円)	3,500	1,586	0
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		「福島潟自然文化祭」の開催により、福島潟のPR及び福島潟で行われている自然保護活動のPRを図るとともに、多くの人から足を運んでもらい、福島潟の認知度を上げる。また、参加者から福島潟の自然に親しんでもらうことで福島潟及び潟の自然保護に関する関心を高めてもらう。自然文化祭の参加者20,000人を目標とする。 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上	105.0% 参加者21,000人	台風により中止	新型コロナウイルス
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満		中止	中止
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表		イベントポスター、チラシに掲載		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 主催団体が財政基盤が脆弱な任意団体であり、今後も自主財源の確保に努めるよう促し、事業の趣旨・内容等を踏まえ補助率を決定していく。 <g～hにおける取組> イベントの参加者数は天候により大きく左右されることから、他の指標も加えることで、より成果の検証が図れるよう改善していく。			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 当イベントは北区の一大イベントとして市内外に定着しているうえ、毎年多くの来場者があり、福島潟のPR及び潟の自然保護への関心を高めることに大いに役立っている。また、地元自治会や小中学校、青年会議所、福祉団体、地元大学生など、財政基盤が脆弱ではあるが、さまざまな団体で構成する実行委員会が企画・運営を行うことでイベント内容の充実が図られており、今後の発展が期待される。自主財源の確保や経費削減に努めている中、2年連続で中止となってしまったことから、安定した運営の実現に向け今後も補助を継続していく。					